

ふれあい

2014

3

No.324

牛久愛和総合病院 広報誌



血液透析療法について

特任副院長 透析センター長 腎臓内科部長 中村日出子



近づけるための治療方法です。

今回は血液透析療法の実際について説明させていただきます。

一般的な血液透析療法は週3回、1回3～5時間、透析設備のある

病院やクリニック（2012年年

末の統計では、日本には4,238

施設、茨城県には84施設あります）

で行います。

血液透析で補う腎臓の働きは主

に以下の4つです。

①血液中の老廃物の排泄

②余分な水分の排泄

③血液を中性に戻す

④血液の電解質を正常にする。

成人には約5,000mlの血液が

あります。血液透析では1分間に

150～250mlの血液をきれい

にしますが、通常の腕の静脈は1

分間に50ml程度の血流しかありま

せん。腕の静脈と動脈の一部（5

～6mm）を皮下でバイパス吻合し、

動脈の血液の一部を静脈に流しま

す。こうして血流の良い静脈（内

シヤント）を作ります。血液透析

の時には、この内シヤントに太めの針を2本刺します。下流より血

液を取り出し、人工腎臓（ダイア

ライザー）という中空糸の筒に通

ります。この間にきれいな透析液

で血液を洗い、老廃物や酸を取り除き、電解質を調整し、余分な水

を取り除いて再び上流の血管に

戻します。

患者さんの病態により、使用す

る人工腎臓の種類・大きさ・血流

量・透析時間などは異なります。

当院では、月2回の血液検査と月

1回の胸部レントゲン・心電図検

査を行い、患者さんに応じた適切

な透析に心がけています。また、

合併症の早期発見のため、年2回

の骨塩量測定と年1回の心臓超音

波検査と腹部CT撮影も行っています。

医療費の心配をされる方もいら

りますが、慢性維持透析を受けて

いる方は身体障害者1級を取得出来ます。世帯の収入に寄り

ますが、特定疾患申請により、医療

費の自己負担は月0～2万円です。

現在の日本の医療保険制度では、

だれでも必要になれば透析医療を受ける事が出来ます。欧米を含め

ます。ただ、日本では、人工腎臓や血液回路などは使い捨てで

いつも新品を使用していますが、

諸外国では洗つて何回も使う事が

多い様です。日本の血液透析は世

界一生命予後が良いと認められています。医療費高騰が問題となつ

ていますが、今後も素晴らしい事を望

言語聴覚士

言語聴覚士 佐藤 純史



ふれあい

リハビリシリーズも今月で最後です。最後は「言語聴覚士…(S-T)」の仕事を紹介します。

大切な人に自分の思いを伝えられないとしたらどうですか?自分の要求が相手に伝わらないとしたら?非常にどかしく、ストレスを感じ人とコミュニケーションをとるのが嫌になると思います。また、食べたいものが食べられない、飲みたいものが飲めないとしたら?そのような言語(ことば)、嚥下(飲み込み)に何らかの障害を持つた方々に対し、リハビリを行うのが私たち言語聴覚士です。

主な対象は成人ですが一部小児分野のリハビリも少人数で実施しており老若男女幅広く対象としております。

言語障害は「見えない障害」と言われています。言語障害の方を一目みても障害の有無は分かりませんが話してみて初めて障害の有無に気付くといった一面を持つております。患者さんは抑うつ状態になりやすいと言われています。リハビリでは言語・発話機能訓練を行いコミュニケーション

リハビリシリー^Zズも今月で最後です。最後は「言語聴覚士…(S-T)」の仕事を紹介します。

大切な人に自分の思いを伝えられないとしたらどうですか?自分の要求が相手に伝わらないとしたら?非常にどかしく、ストレスを感じ人とコミュニケーションをとるのが嫌になると思います。また、食べたいものが食べられない、飲みたいものが飲めないとしたら?そのような言語(ことば)、嚥下(飲み込み)に何らかの障害を持つた方々に対し、リハビリを行うのが私たち言語聴覚士です。

主な対象は成人ですが一部小児分野のリハビリも少人数で実施しており老若男女幅広く対象としております。

言語障害の種類も構音障害、失語症が多い状況です。嚥下障害で注意すべきは誤嚥性肺炎、低栄養状態です。最近は肺炎での死亡率は上昇しており肺炎死者の9割は65歳以上の高齢者です。誤嚥性肺炎は死因に関連します。誤嚥性肺炎発症後は絶飲食になり低栄養状態になりやすいと言われており、嚥下障害と低栄養状態は身体機能等の回復を遅延させる一因となります。そのような方々に嚥下機能訓練と、食事形態変更、食事摂取方法の指導を行い、安全な範囲内での早期経口摂取を目指しています。

リハビリはP.T、O.T、S.Tの3職種が協力しあい患者さんのサポートを行っています。何か、生活でお困りの方は主治医に相談の上、リハビリテーションセンターへお越し下さい。

宴会に出席するときは、お酒と水を交互に飲む、もつぱら注ぎます。ビール350mlで160kcalあり、ご飯約1杯(100g)のカロリーに相当します。

季節となりました。桜の開花が待ち遠しいですね。

D M カフエ

糖尿病看護認定看護師 河邊 聰子



糖尿病看護認定看護師

河邊 聰子

2月17日付
■看護部

〈糖尿病教室のご案内〉

4月9日

糖尿病について

4月16日

足も身のうち

フットケア

4月23日

糖尿病と高血圧
薄味ってどの位?

ワンポイントアドバイス

3月は年度末とあつて、なに

かと会合が多い時期です。アルコールを手にする機会も多いことでしょう。アルコールは肝臓

とでよう。アルコールは肝臓に負担をかけるばかりでなく、

14時30分から「からだ情報館」にて行います。予約不要、参加無料です。お気軽にお越しください。



1/31付退職
脳神経外科
茂木陽介



1/31付退職
脳神経外科
茂木陽介



昨年二月より、一年間という短い期間ではあります、牛久愛和総合病院のスタッフ、患者様方に支えられながら、何とか日々の診療をこなすことができました。次の勤務先においても、当院で学んだことを糧として、診療に当たっていきたいと思ってい

入職者

看護師 高木 奈穂美
■看護部
新しい環境に早く慣れて、笑顔を忘れず毎日楽しく仕事をしたいと思います。

このお仕事を通して色々な方とふれあう事で、自分の世界を広げて行けたらと思っています。

医事企画部

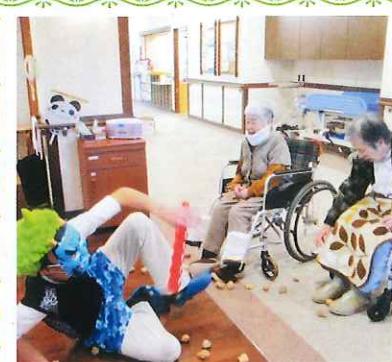
野村 光代

このお仕事を通して色々な方とふれあう事で、自分の世界を広げて行けたらと思っています。

看護師

高木 奈穂美
■看護部
新しい環境に早く慣れて、笑顔を忘れず毎日楽しく仕事をしたいと思います。

春秋園だより



梅のつぼみが少しづつ顔を見せはじめ、春の香りを運んでくる季節となりました。まだ冷たい風が吹き、春の暖かさが待ち遠しく感じます。

春秋園では、二月三日に節分の豆まきを行いました。各フロアで鬼になりきった職員が利用者様から豆を投げられ退治されていました。

節分とは本来、「季節を分け移り変わる節日を指すそうですが、以前は立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、1年に4回あつたものだそうです。以前は、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、

豆まきで使う豆は生の豆ではなく炒つた豆でなくてはならないそうです。なぜなら、生の豆を使うと拾い忘れた豆から芽が出てしまうと縁起が悪いからと言われています。

利用者の皆様からも色々な事を教わりながら、昔はどんな豆まきをしたかなどを聞き、地方によって様々な声の出しが違います。

「鬼は外。福は内」とても大きな声が春秋園に響き渡った節分でした。

(入所スタッフ一同)



A館2階へ



A館～B・C館へ



A館入口



B館よりA館、リハビリへ



全館案内

院内の案内表示が、わかりやすくリユースされました。

全館案内をはじめ、各場所への案内看板が色分けされ見やすくなりました。

矢印やイラストなどを多用し、一目で行きたい場所がわかるようになりました。

例えば、リハビリセンターの看板カラーは緑です。緑の色を目印に看板をたどるとリハビリセンターに着くことができます。

ます。一年間、どうもありがとうございました。

4月の生活習慣病教室はありませんので、ご了承下さい。



茨城がん学会

2/2

平成26年2月2日に筑波大学で開催された「茨城がん学会」で当院の作業療法士と言語聴覚士が発表させて頂きました。がん患者に対するリハビリの歴史は浅く、決められた研修を終了した療法士のみが、がん患者に対するリハビリを行えることになっています。その為、がん学会でも療法士の発表は4演題と少ないものでした。今回の発表を通し、がん医療におけるリハビリの必要性を少しでもアピール出来ればと考えております。

(文責：リハビリセンター 作業療法士 夏加 孝明)

豆まき集会

2/3

2月3日(月)豆まき集会を行いました。年長児は鬼を迎える為朝からホールの床や窓を雑巾掛けしました。その後福豆を炒つたり鯛を焼いてやいかがしを作りました。昼食後みんなでホールに座り鬼を持っているとドー

編集だより

今年は今までにない記録的な雪が降り、交通機関も混乱し、みなさん大変な思いをしたのではないかでしょうか。ようやく寒さも一段落し、すごいやくなりそうですね^^(K・A)



ン、ドーンという鬼の鳴らす太鼓の音が近付いてきました。ホール内に緊張が走り静まりかえりました。今年も4人の鬼がマリアに来ました。三つの約束を交わした後豆まきをしました。鬼が災いを持つて行ってくれたので素敵な春を迎えられそうです。

(小田木)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床（一般434床 医療療養型55床）

施設

敷地 59,449.60 m² 駐車場 1032台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

